

美作監査第40号
令和8年8月19日

美作市長 萩原 誠司 殿

美作市監査委員 尾崎 功三
美作市監査委員 角 南 良雄

令和7年度美作市各会計歳入歳出決算
及び基金運用状況の審査について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、令和7年度美作市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算とその附属書類並びに基金運用状況を審査したので、その結果を次のとおり意見を付して提出します。

令和 7 年度

美作市一般会計・特別会計歳入歳出決算
及び基金運用状況審査意見書

美 作 市 監 査 委 員

目 次

第1	基準に準拠している旨	1
第2	審査の種類	1
第3	審査の対象	1
第4	審査の着眼点	1
第5	審査の主な実施内容	1
第6	審査の実施場所及び日程	2
第7	審査の結果	2
1	総 括	3
(1)	決算額の状況	3
(2)	決算収支の状況	4
(3)	市債の状況	4
(4)	普通会計による財政の状況	6
2	一 般 会 計	9
(1)	決算概要	9
(2)	歳 入	9
(3)	歳 出	21
3	特 別 会 計	31
(1)	決算概要	31
(2)	各会計の概要	33
ア	美作市国民健康保険特別会計	33
イ	美作市介護保険特別会計	35
ウ	美作市公園墓地事業特別会計	36
エ	美作市老人保健施設事業特別会計	37
オ	美作市老人福祉施設事業特別会計	38
カ	矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計	39
キ	美作市後期高齢者医療特別会計	40
4	財産に関する調書	41
5	基金の運用状況	42
6	む す び	44
(1)	決算審査の概要と決算額に対する意見	44
(2)	事務処理に対する意見	45

- (注) ① 説明文中の金額は原則として万円単位で表し、万円未満については切り捨てた。
このため計数が一致しないことがある。
- ② 文中で使用している「ポイント」は、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- ③ 比率・割合は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- ④ 各表中比較増減の減は、△印で表示した。
- ⑤ 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
- ⑥ 「－」は、該当数値のないもの、又は算出不能なものである。
- ⑦ 「皆増」は、前年度に数値がなく全額増加したものである。
- ⑧ 「皆減」は、当該年に数値がなく全額減少したものである。

令和 7 年度美作市一般会計及び特別会計決算審査意見書

第 1 基準に準拠している旨

監査委員は、美作市監査基準（令和 2 年美作市監査委員告示第 1 号）に準拠して審査を行った。

第 2 審査の種類

決算審査（地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 2 項）
基金運用状況審査（地方自治法第 241 条第 5 項）

第 3 審査の対象

令和 7 年度 美作市一般会計決算
令和 7 年度 美作市国民健康保険特別会計決算
令和 7 年度 美作市介護保険特別会計決算
令和 7 年度 美作市公園墓地事業特別会計決算
令和 7 年度 美作市老人保健施設事業特別会計決算
令和 7 年度 美作市老人福祉施設事業特別会計決算
令和 7 年度 矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計決算
令和 7 年度 美作市後期高齢者医療特別会計決算
令和 7 年度 美作市財産に関する調書
令和 7 年度 美作市基金の運用状況

第 4 審査の着眼点

有効性、効率性、経済性に注目し審査した。

第 5 審査の主な実施内容

審査に当たっては実査、立会、確認、証憑突合、帳簿突合、計算突合、質問、観察、閲覧等の手法により、監査を効果的かつ効率的に実施するため、十分かつ適切な審査の証拠を入手して実施した。

また、地方自治法第 235 条の 2 第 1 項の規定により実施した例月現金出納検査、同法第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定により実施した定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係者からの説明を聴取して審査を実施した。

第6 審査の実施場所及び日程

審査の実施場所：美作市役所（美作市美来1番地）及び各所属事務所

日程：令和8年7月9日から令和8年7月24日まで

第7 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算書等および基金の運用状況を示す書類は、いずれも関係法令に準拠して適正に作成されており、証書類と符号し、計数は正確であると認められた。

また、予算の執行および基金の運用状況については、おおむね適正かつ効率的に行われているものと認められた。

しかしながら、予算執行の一部において、後述のとおり改善や検討を要する事項が見受けられた。今後の業務執行に当たっては、これらの指摘事項に十分留意し、より一層の適正化に努められたい。

1 総 括

(1) 決算額の状況

令和 7 年度一般会計及び特別会計の決算の状況は、

予算現額 35,447,909,000 円
 歳入総額 34,686,670,510 円 (予算収入率 97.9%)
 歳出総額 32,685,454,533 円 (予算執行率 92.2%)
 差 引 2,001,215,977 円 となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決 算 規 模 の 推 移

(単位：千円・%)

年度 区分		R 7	R 6	対前年度比	
				増 減	増減率
一 般 会 計	予 算 現 額	26,652,074	28,959,600	△ 2,307,526	92.0
	歳 入 決 算 額	26,198,926	26,947,383	△ 748,457	97.2
	歳 出 決 算 額	24,457,409	25,170,079	△ 712,670	97.2
	歳入歳出差引	1,741,517	1,777,304	△ 35,787	98.0
特 別 会 計	予 算 現 額	8,795,835	8,742,257	53,578	100.6
	歳 入 決 算 額	8,487,745	8,611,715	△ 123,970	98.6
	歳 出 決 算 額	8,228,045	8,306,798	△ 78,753	99.1
	歳入歳出差引	259,700	304,917	△ 45,217	85.2
合 計	予 算 現 額	35,447,909	37,701,857	△ 2,253,948	94.0
	歳 入 決 算 額	34,686,671	35,559,098	△ 872,427	97.5
	歳 出 決 算 額	32,685,455	33,476,877	△ 791,423	97.6
	歳入歳出差引	2,001,216	2,082,221	△ 81,005	96.1

一般会計では、歳入決算額が 261 億 9,892 万円、歳出決算額が 244 億 5,740 万円であり、差引額は 17 億 4,151 万円となっており、前年度に対して 3,578 万円減少している。

なお、特別会計（7 会計）では、歳入決算額 84 億 8,774 万円、歳出決算額 82 億 2,804 万円であり、差引額は 2 億 5,970 万円となっており、前年度に対して 4,521 万円減少している。

また、歳入歳出差引額（形式収支）では、前年度に対して 8,100 万円減少している。

(2) 決算収支の状況

一般・特別会計の決算収支状況は、次表のとおりである。

一般・特別会計決算収支の推移

(単位：千円)

区 分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支	単年度収支
R7 年度	一般会計	26,198,926	24,457,409	1,741,517	89,749	1,651,768	173,505
	特別会計	8,487,745	8,228,045	259,700	0	259,700	△ 45,217
	合計	34,686,671	32,685,455	2,001,216	89,749	1,911,467	128,287
R6 年度	一般会計	26,947,383	25,170,079	1,777,304	299,041	1,478,263	10,413
	特別会計	8,611,715	8,306,798	304,917	0	304,917	55,747
	合計	35,559,098	33,476,877	2,082,221	299,041	1,783,180	66,160
R5 年度	一般会計	25,937,113	24,409,125	1,527,988	60,139	1,467,849	△ 71,148
	特別会計	8,687,075	8,437,809	249,266	96	249,170	△ 46,736
	合計	34,624,188	32,846,934	1,777,255	60,235	1,717,020	△ 117,883

一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 20 億 121 万円の剰余金を生じている。この内には翌年度へ繰り越すべき財源として、繰越額 8,974 万円が含まれているので、これを差し引いた実質収支では、19 億 1,146 万円となっている。

また、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、1億2,828万円の黒字となっている。

(3) 市債の状況

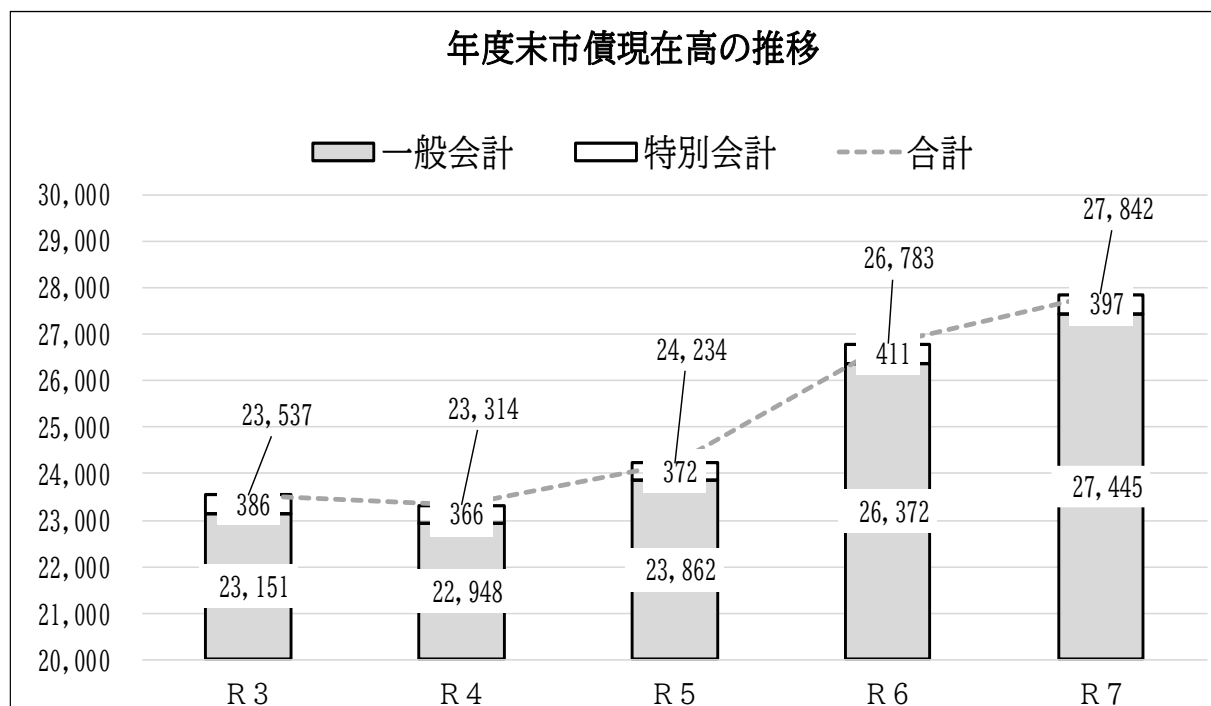
ア 市債の現在高は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区分 \ 年度	前年度末 現在高	R7			対前年度比
		借 入 金	償 還 元 金	年度末現在高	
一 般 会 計	26,372,537	4,119,400	3,047,214	27,444,723	104.1
特 別 会 計	410,684	13,200	26,765	397,118	96.7
合 計	26,783,221	4,132,600	3,073,979	27,841,842	104.0

イ 市債の年度末現在高の年度推移グラフは、次のとおりである。

(単位：百万円)



ウ 歳入決算額に占める市債発行額の割合は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

年度 区分	R 7			R 6			発行割合 の前年差
	歳入決算額	市債発行額	市債発行 割合	歳入決算額	市債発行額	市債発行 割合	
一般会計	26,198,926	4,119,400	15.7	26,947,383	5,548,554	20.6	△ 4.9
特別会計	8,487,745	13,200	0.2	8,611,715	62,300	0.7	△ 0.5
合 計	34,686,671	4,132,600	11.9	35,559,098	5,610,854	15.8	△ 3.9

エ 歳出決算額に占める長期債償還額（元金・利子）の割合は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

年度 区分	R 7			R 6			償 還 割合の 前年差
	歳出決算額	長期債償還額	償還 割合	歳出決算額	長期債償還額	償還 割合	
一般会計	24,457,409	3,165,814	12.9	25,170,079	3,106,573	12.3	0.6
特別会計	8,228,045	28,165	0.3	8,306,798	24,524	0.3	0.0
合 計	32,685,455	3,193,978	9.8	33,476,877	3,131,097	9.4	0.4

(4) 普通会計による財政の状況

一般会計・特別会計純計決算総括表

(単位：千円)

普通会計	区 分		一般会計	特定の特別会計	合 計
	歳 入	決 算 額	26,198,926	27,783	26,226,709
		重 複 控 除	0	0	0
		純計決算額	26,198,926	27,783	26,226,709
	歳 出	決 算 額	24,457,409	6,585	24,463,994
		重 複 控 除	0	0	0
		純計決算額	24,457,409	6,585	24,463,994
	差引残額	決 算 額	1,741,517	21,198	1,762,715
		純計決算額	1,741,517	21,198	1,762,715

(注)1 普通会計とは、総務省で定める基準により作成される統計上の会計で、一般会計と特定の特別会計（美作市においては公園墓地事業特別会計、矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計の計2会計）を合算し、重複額等を控除した額である。

2 重複控除とは、各会計相互間の繰入額、繰出額の重複部分を控除した額である。

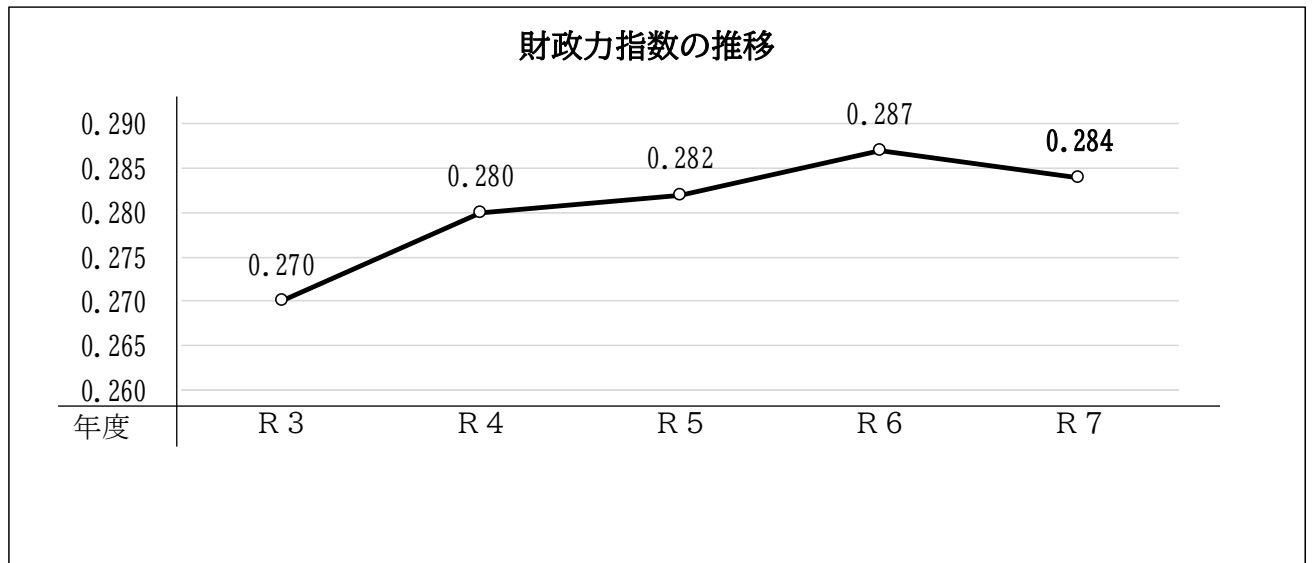
純計決算額の合計は、歳入 262 億 2,670 万円、歳出 244 億 6,399 万円で、純計収支は 17 億 6,271 万円となっている。

なお、財政の構造について、普通会計における財政分析の状況は、次表のとおりである。

財 政 指 標 比 較 表

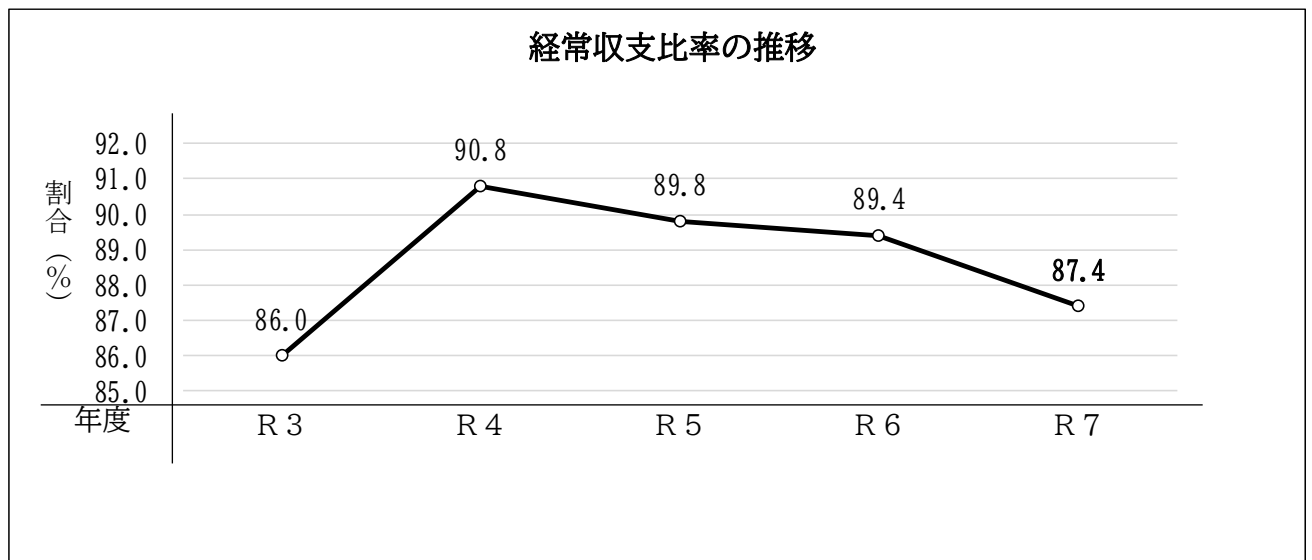
普通会計	区分	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率
	年度	(3 か年平均)	(%)	(%)	(%)
	R 7	0.284	87.4	9.2	0.0
	R 6	0.287	89.4	10.4	0.0
	差 引	△ 0.003	△ 2.0	△ 1.2	0.0

ア 財政力指数



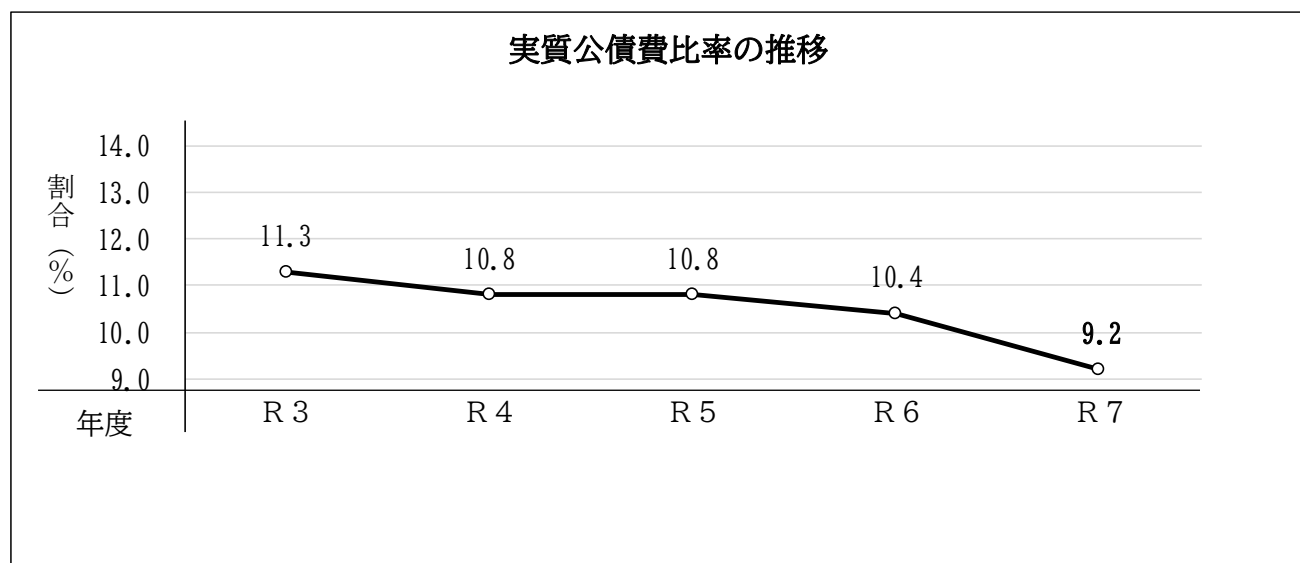
財政力指数は 0.284 で、前年度に比べて 0.003 ポイント低下している。この指数は、地方公共団体の財政力を評価するときに用いられるもので、指数が 1 に近いほど自主財源の割合が高く財政力が強いと見ることができ、1 を超えると普通交付税不交付団体となる。

イ 経常収支比率



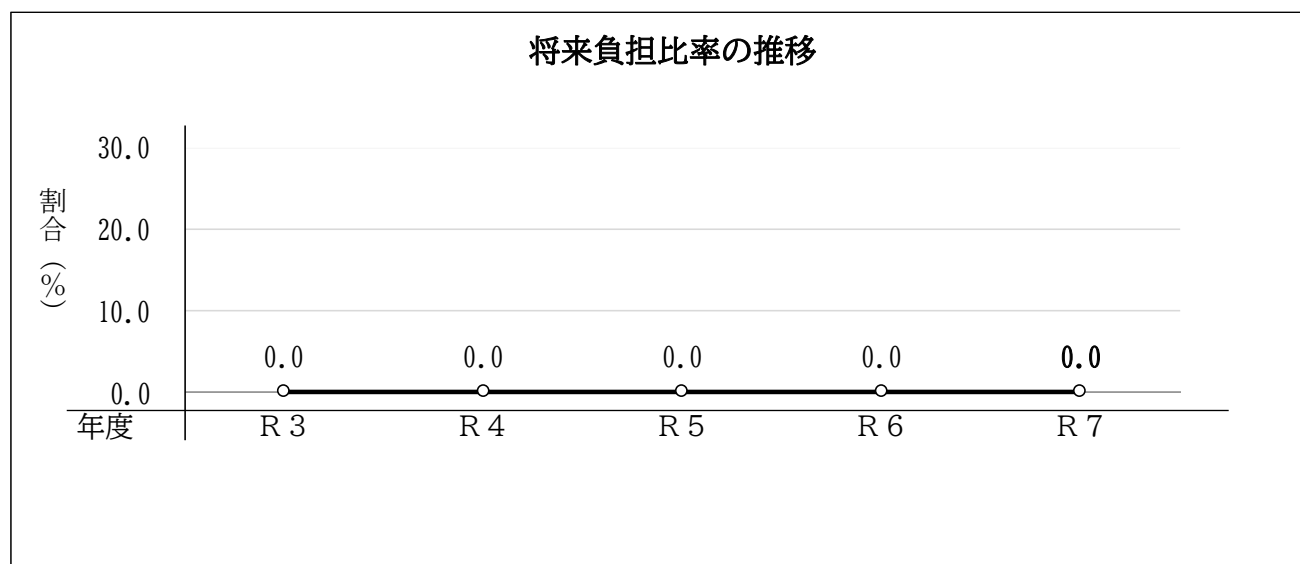
経常収支比率は 87.4% で、前年度に比べて 2.0 ポイント好転している。この比率は通常、財政構造の弾力性を示すもので、比率が高いほど財政の硬直化が進んでいるとみられる。

ウ 実質公債費比率



実質公債費比率は 9.2%であり、前年度に比べて 1.2 ポイント好転している。この比率は、普通会計における市債の元利償還金のみではなく、公営事業会計や一部事務組合における市債等の元利償還金のうち、一般会計が負担するものを加えて、その割合を算定するもので、前 3 年度の平均値を用いる。比率が、18%以上の場合は市債発行に国県の許可が必要となり、25%以上で一定の地方債の起債が制限される。

エ 将来負担比率



将来負担比率は前年度と同様に 0.0% (算定なし) である。

(参考) 実質公債費比率が公債費等の支払いの 3 か年平均を用いる指標であるのに対し、将来負担比率は、将来支払っていく可能性のある負債等の現時点での残高を指標化したもので、財政を圧迫する可能性の度合いを示すものである。この比率が 350%以上になると早期健全化団体となり、財政健全化計画の策定を義務付けられる。

2 一般会計

(1) 決算概要

令和7年度一般会計の決算の状況は、次のとおりである。

予算現額	26,652,074,000 円	
歳入総額	26,198,925,585 円	(予算収入率 98.3%)
歳出総額	24,457,409,292 円	(予算執行率 91.8%)
差 引	1,741,516,293 円	となっている。

一般会計決算収支状況

(単位：千円・%)

年度 区分	R 7	R 6	対前年度比
歳 入 総 額	26,198,926	26,947,383	97.2
歳 出 総 額	24,457,409	25,170,079	97.2
歳入歳出差引額	1,741,517	1,777,304	98.0
翌年度繰越財源	89,749	299,041	30.0
実 質 収 支	1,651,768	1,478,263	111.7
単 年 度 収 支	173,505	10,413	1,666.2

本年度の実質収支は16億5,176万円となっており、前年度実質収支14億7,826万円を差し引いた単年度収支は1億7,350万円の黒字となっている。

(2) 歳入

ア 決算の概況

歳入決算の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算前年度対比表

(単位：千円・%)

年度 区分		R 7	R 6	増 減	増減率
予 算 現 額		26,652,074	28,959,600	△ 2,307,526	△ 8.0
調 定 額		26,927,304	27,661,806	△ 734,502	△ 2.7
収入 済 額	金 額	26,198,926	26,947,383	△ 748,457	△ 2.8
	予算対比（収入率）	98.3	93.1	5.2	5.6
	調定対比（収納率）	97.3	97.4	△ 0.1	△ 0.1
不 納 欠 損 額		44,684	15,823	28,861	182.4
収 入 未 済 額		683,694	698,600	△ 14,906	△ 2.1

歳入の決算状況は、予算現額 266 億 5,207 万円に対し、収入済額は 261 億 9,892 万円で、予算に対する収入率は 98.3%となっており、前年度に対して 7 億 4,845 万円減少している。

なお、調定額 269 億 2,730 万円に対する収納率は 97.3%となっており、不納欠損額 4,468 万円、収入未済額 6 億 8,369 万円が生じている。

また、不納欠損額及び収入未済額の内訳は市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入である。

イ 自主財源及び依存財源の状況

財源別歳入決算額は、次表のとおりである。

自 主 ・ 依 存 財 源 分 類 表

(単位：千円・%)

区分 \ 年度	R 7		R 6		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
自 主 財 源	7,232,644	27.6	6,812,432	25.3	420,211	6.2
依 存 財 源	18,966,282	72.4	20,134,951	74.7	△ 1,168,669	△ 5.8
合 計	26,198,926	100.0	26,947,383	100.0	△ 748,457	△ 2.8

(注)1 「自主財源」とは、市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入をいう。

2 「依存財源」とは、自主財源以外の地方交付税、国庫支出金等による収入をいう。

歳入決算に占める自主財源は 72億3,264万円で、前年度に対して 4億2,021万円 (6.2%) 増加しており、構成比は27.6%と前年度に対し 2.3ポイント増加している。

また、依存財源は 189億6,628万円で、前年度に対して 11億6,866万円 (5.8%) 減少しており、構成比は 72.4%と、前年度に対し 2.3ポイント減少している。

ウ 款別決算状況

歳入の款別決算状況は、次表のとおりである。

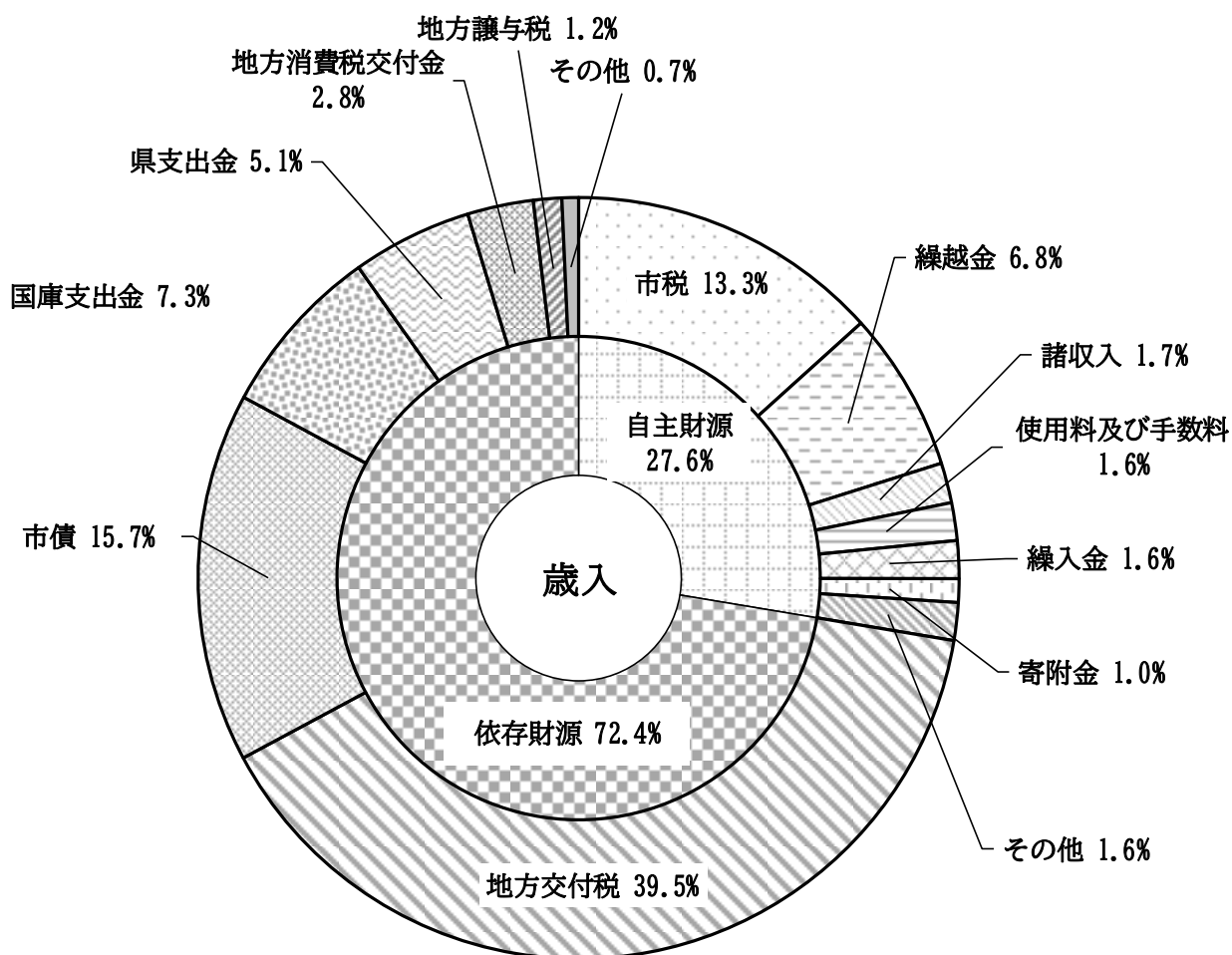
款 別 歳 入 決 算 総 括 表

(単位：千円・%)

年度 区分	R 7					R 6	対前年度比	
	予算現額	調定額	収入済額	歳入比率		収入済額	増 減	増減率
				予算対比	構成比			
市 税	3,255,305	3,820,565	3,493,545	107.3	13.3	3,360,280	133,265	4.0
地 方 譲 与 税	287,797	317,231	317,231	110.2	1.2	310,465	6,766	2.2
利子割交付金	2,000	4,926	4,926	246.3	0.0	1,365	3,561	260.9
配当割交付金	8,000	30,306	30,306	378.8	0.1	19,016	11,290	59.4
株式等譲渡所得割交付金	5,000	34,993	34,993	699.9	0.1	30,961	4,032	13.0
法人事業税交付金	30,000	62,193	62,193	207.3	0.2	66,031	△ 3,838	△ 5.8
地方消費税交付金	600,000	723,855	723,855	120.6	2.8	682,499	41,356	6.1
ゴルフ場利用税交付金	20,000	18,010	18,010	90.1	0.1	18,501	△ 491	△ 2.7
環境性能割交付金	20,000	29,033	29,033	145.2	0.1	29,736	△ 703	△ 2.4
地方特例交付金	5,000	15,396	15,396	307.9	0.1	115,652	△ 100,256	△ 86.7
地 方 交 付 税	10,056,085	10,361,104	10,361,104	103.0	39.5	10,095,690	265,414	2.6
交通安全対策特別交付金	3,000	2,210	2,210	73.7	0.0	2,239	△ 29	△ 1.3
分担金及び負担金	186,939	184,435	184,021	98.4	0.7	188,225	△ 4,204	△ 2.2
使用料及び手数料	405,932	453,054	408,850	100.7	1.6	413,321	△ 4,471	△ 1.1
国 庫 支 出 金	2,394,858	1,922,520	1,922,520	80.3	7.3	1,937,653	△ 15,133	△ 0.8
県 支 出 金	1,385,019	1,325,105	1,325,105	95.7	5.1	1,276,589	48,516	3.8
財 産 収 入	218,776	238,068	238,068	108.8	0.9	236,223	1,845	0.8
寄 附 金	286,031	250,729	250,729	87.7	1.0	283,362	△ 32,633	△ 11.5
繰 入 金	424,695	423,713	423,713	99.8	1.6	330,918	92,795	28.0
繰 越 金	1,777,303	1,777,304	1,777,304	100.0	6.8	1,527,989	249,315	16.3
諸 収 入	452,634	813,155	456,414	100.8	1.7	472,115	△ 15,701	△ 3.3
市 債	4,827,700	4,119,400	4,119,400	85.3	15.7	5,548,554	△ 1,429,154	△ 25.8
合 計	26,652,074	26,927,304	26,198,926	98.3	100.0	26,947,383	△ 748,457	△ 2.8

当年度の歳入構成比率は次のとおりである。

歳入構成比率



収入済額は前年度に対して、7億4,845万円の減額（前年度対比 マイナス2.8%）となっている。この主な要因は、地方交付税が2億6,541万円、繰越金が2億4,931万円、市税が1億3,326万円、繰入金が9,279万円増額したものの、市債が14億2,915万円、地方特例交付金が1億25万円、寄付金が3,263万円減額したことなどによるものである。

款別収入済額では地方交付税が 103億6,110万円で、全体の 39.5%を占めており、次いで市債が 41億1,940万円で全体の 15.7%、市税が 34億9,354万円で全体の 13.3%となっている。

第1款 市税

収 納 状 況

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	3,255,305,000	3,820,565,007	3,493,545,635	31,370,900	295,648,472	107.3	91.4
R 6	3,166,171,000	3,667,547,894	3,360,280,427	14,736,380	292,531,087	106.1	91.6
増減	89,134,000	153,017,113	133,265,208	16,634,520	3,117,385	1.2	△ 0.2

税 目 別 収 入 未 済 額 状 況

(単位：円)

年度 区分		R 7		R 6		増 減	
		収入未済額	不納欠損額	収入未済額	不納欠損額	収入未済額	不納欠損額
現年課税分	市 民 税	13,603,290	0	8,809,652	0	4,793,638	0
	個 人	12,381,690	0	8,378,172	0	4,003,518	0
	法 人	1,221,600	0	431,480	0	790,120	0
	固 定 資 産 税	42,257,160	0	33,917,300	0	8,339,860	0
	軽 自 動 車 税	2,075,380	0	2,181,580	0	△ 106,200	0
	市 た ば こ 税	0	0	0	0	0	0
	入 湯 税	0	0	0	0	0	0
	計	57,935,830	0	44,908,532	0	13,027,298	0
滞納繰越分	市 民 税	30,555,769	4,085,513	33,136,768	3,363,320	△ 2,580,999	722,193
	個 人	29,252,785	3,759,282	31,861,784	3,215,420	△ 2,608,999	543,862
	法 人	1,302,984	326,231	1,274,984	147,900	28,000	178,331
	固 定 資 産 税	199,424,218	26,123,387	206,115,013	10,243,260	△ 6,690,795	15,880,127
	軽 自 動 車 税	5,102,373	1,162,000	5,740,492	1,129,800	△ 638,119	32,200
	市 た ば こ 税	0	0	0	0	0	0
	入 湯 税	2,630,282	0	2,630,282	0	0	0
	計	237,712,642	31,370,900	247,622,555	14,736,380	△ 9,909,913	16,634,520
合 計	市 民 税	44,159,059	4,085,513	41,946,420	3,363,320	2,212,639	722,193
	個 人	41,634,475	3,759,282	40,239,956	3,215,420	1,394,519	543,862
	法 人	2,524,584	326,231	1,706,464	147,900	818,120	178,331
	固 定 資 産 税	241,681,378	26,123,387	240,032,313	10,243,260	1,649,065	15,880,127
	軽 自 動 車 税	7,177,753	1,162,000	7,922,072	1,129,800	△ 744,319	32,200
	市 た ば こ 税	0	0	0	0	0	0
	入 湯 税	2,630,282	0	2,630,282	0	0	0
	計	295,648,472	31,370,900	292,531,087	14,736,380	3,117,385	16,634,520

予算現額 32億5,530万円に対し収入済額は 34億9,354万円で、収入率は107.3%となっており、調定額38億2,056万円に対する収納率は91.4%であり、前年度に対して収入済額は1億3,326万円増加している。

なお、本年度の収入未済額は 2億9,564万円であり、前年度に対して 311万円（1.1%）増加している。また、本年度の不納欠損額は 3,137万円で、前年度から 1,663万円増加しており、不納欠損額の大半は固定資産税が占めている。

第2款 地方譲与税

（単位：円・％）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	287,797,000	317,231,000	317,231,000	0	0	110.2	100.0
R 6	287,927,000	310,465,000	310,465,000	0	0	107.8	100.0
増減	△ 130,000	6,766,000	6,766,000	0	0	2.4	0.0

予算現額 2億8,779万円に対して調定額及び収入済額は 3億1,723万円で、前年度から 676万円増加している。

第3款 利子割交付金

（単位：円・％）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	2,000,000	4,926,000	4,926,000	0	0	246.3	100.0
R 6	2,000,000	1,365,000	1,365,000	0	0	68.3	100.0
増減	0	3,561,000	3,561,000	0	0	178.0	0.0

予算現額 200万円に対して調定額及び収入済額は 492万円で、前年度から 356万円増加している。

第4款 配当割交付金

（単位：円・％）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	8,000,000	30,306,000	30,306,000	0	0	378.8	100.0
R 6	8,000,000	19,016,000	19,016,000	0	0	237.7	100.0
増減	0	11,290,000	11,290,000	0	0	141.1	0.0

予算現額 800万円に対して調定額及び収入済額は 3,030万円で、前年度から 1,129万円増加している。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	5,000,000	34,993,000	34,993,000	0	0	699.9	100.0
R 6	5,000,000	30,961,000	30,961,000	0	0	619.2	100.0
増減	0	4,032,000	4,032,000	0	0	80.7	0.0

予算現額 500万円に対して調定額及び収入済額は 3,499万円で、前年度から 403万円増加している。

第6款 法人事業税交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	30,000,000	62,193,000	62,193,000	0	0	207.3	100.0
R 6	20,000,000	66,031,000	66,031,000	0	0	330.2	100.0
増減	10,000,000	△ 3,838,000	△ 3,838,000	0	0	△ 122.9	0.0

予算現額 3,000万円に対して調定額及び収入済額は6,219万円で、前年度から 383万円減少している。

第7款 地方消費税交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	600,000,000	723,855,000	723,855,000	0	0	120.6	100.0
R 6	560,000,000	682,499,000	682,499,000	0	0	121.9	100.0
増減	40,000,000	41,356,000	41,356,000	0	0	△ 1.3	0.0

予算現額 6億円に対して調定額及び収入済額は 7億2,385万円で、前年度から 4,135万円増加している。

第8款 ゴルフ場利用税交付金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	20,000,000	18,010,121	18,010,121	0	0	90.1	100.0
R 6	20,000,000	18,500,709	18,500,709	0	0	92.5	100.0
増減	0	△ 490,588	△ 490,588	0	0	△ 2.4	0.0

予算現額 2,000万円に対して調定額及び収入済額は 1,801万円で、前年度から 49万円減少している。

第9款 環境性能割交付金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	20,000,000	29,033,000	29,033,000	0	0	145.2	100.0
R 6	20,000,000	29,736,000	29,736,000	0	0	148.7	100.0
増減	0	△ 703,000	△ 703,000	0	0	△ 3.5	0.0

予算現額 2,000万円に対して調定額及び収入済額は 2,903万円で、前年度から 70万円減少している。

第10款 地方特例交付金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	5,000,000	15,396,000	15,396,000	0	0	307.9	100.0
R 6	98,000,000	115,652,000	115,652,000	0	0	118.0	100.0
増減	△ 93,000,000	△ 100,256,000	△ 100,256,000	0	0	189.9	0.0

予算現額 500万円に対して調定額及び収入済額は 1,539万円で、前年度から 1億25万円減少している。

第 1 1 款 地方交付税

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	10,056,085,000	10,361,104,000	10,361,104,000	0	0	103.0	100.0
R 6	9,624,091,000	10,095,690,000	10,095,690,000	0	0	104.9	100.0
増減	431,994,000	265,414,000	265,414,000	0	0	△ 1.9	0.0

予算現額 100億5,608万円に対して調定額及び収入済額は 103億6,110万円で、前年度から 2億6,541万円増加している。

第 1 2 款 交通安全対策特別交付金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	3,000,000	2,210,000	2,210,000	0	0	73.7	100.0
R 6	3,000,000	2,239,000	2,239,000	0	0	74.6	100.0
増減	0	△ 29,000	△ 29,000	0	0	△ 0.9	0.0

予算現額 300万円に対して調定額及び収入済額は 221万円で、前年度から 2万円減少している。

第 1 3 款 分担金及び負担金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	186,939,000	184,434,909	184,021,006	75,503	338,400	98.4	99.8
R 6	191,847,000	188,638,514	188,224,611	0	413,903	98.1	99.8
増減	△ 4,908,000	△ 4,203,605	△ 4,203,605	75,503	△ 75,503	0.3	0.0

予算現額 1億8,693万円に対して収入済額は 1億8,402万円で、収入率は 98.4%となっている。

なお、調定額 1億8,443万円に対する収納率は 99.8%で、収入未済額 33万円（民生費負担金）が生じており、収入済額は前年度から 420万円減少している。

第 1 4 款 使用料及び手数料

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	405,932,000	453,054,425	408,849,938	18,000	44,186,487	100.7	90.2
R 6	411,728,000	457,535,361	413,320,706	154,800	44,059,855	100.4	90.3
増減	△ 5,796,000	△ 4,480,936	△ 4,470,768	△ 136,800	126,632	0.3	△ 0.1

予算現額 4億593万円に対して収入済額は 4億884万円で、収入率は 100.7%となっている。

なお、調定額 4億5,305万円に対する収納率は 90.2%となっており、収入未済額 4,418万円が生じている。また収入未済額の主なものは、土木使用料 4,329万円であり、収入済額は前年度から 447万円減少している。

第 1 5 款 国庫支出金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	2,394,858,000	1,922,520,006	1,922,520,006	0	0	80.3	100.0
R 6	2,126,263,000	1,937,652,724	1,937,652,724	0	0	91.1	100.0
増減	268,595,000	△ 15,132,718	△ 15,132,718	0	0	△ 10.8	0.0

予算現額 23億9,485万円に対して調定額及び収入済額は 19億2,252万円で、前年度から 1,513万円減少している。

第 1 6 款 県支出金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	1,385,019,000	1,325,104,787	1,325,104,787	0	0	95.7	100.0
R 6	1,324,695,000	1,276,589,075	1,276,589,075	0	0	96.4	100.0
増減	60,324,000	48,515,712	48,515,712	0	0	△ 0.7	0.0

予算現額 13億8,501万円に対して調定額及び収入済額は 13億2,510万円で、前年度から 4,851万円増加している。

第 17 款 財産収入

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	218,776,000	238,067,809	238,067,809	0	0	108.8	100.0
R 6	220,596,000	236,274,467	236,223,057	0	51,410	107.1	100.0
増減	△ 1,820,000	1,793,342	1,844,752	0	△ 51,410	1.7	0.0

予算現額 2億1,877万円に対して収入済額は 2億3,806万円で、収入率は 108.8%となっている。

なお、調定額 2億3,806万円に対する収納率は 100.0%となっており、収入未済額は生じていない。また、前年度に対して収入済額は 184万円増加している。

第 18 款 寄附金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	286,031,000	250,728,700	250,728,700	0	0	87.7	100.0
R 6	211,920,000	283,361,950	283,361,950	0	0	133.7	100.0
増減	74,111,000	△ 32,633,250	△ 32,633,250	0	0	△ 46.0	0.0

予算現額 2億8,603万円に対して調定額及び収入済額は 2億5,072万円で、前年度から 3,263万円減少している。

第 19 款 繰入金

(単位：円・％)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	424,695,000	423,712,844	423,712,844	0	0	99.8	100.0
R 6	905,102,000	330,917,786	330,917,786	0	0	36.6	100.0
増減	△ 480,407,000	92,795,058	92,795,058	0	0	63.2	0.0

予算現額 4億2,469万円に対して調定額及び収入済額は 4億2,371万円で、前年度から 9,279万円増加している。

第20款 繰越金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	1,777,303,000	1,777,303,509	1,777,303,509	0	0	100.0	100.0
R 6	1,527,988,000	1,527,988,600	1,527,988,600	0	0	100.0	100.0
増減	249,315,000	249,314,909	249,314,909	0	0	0.0	0.0

予算現額 17億7,730万円に対して調定額及び収入済額は 17億7,730万円で、前年度から 2億4,931万円増加している。

第21款 諸収入

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	452,634,000	813,154,680	456,414,230	13,219,427	343,521,023	100.8	56.1
R 6	413,618,000	834,590,912	472,115,307	931,751	361,543,854	114.1	56.6
増減	39,016,000	△ 21,436,232	△ 15,701,077	12,287,676	△ 18,022,831	△ 13.3	△ 0.5

予算現額 4億5,263万円に対して収入済額は 4億5,641万円で、収入率は 100.8%となっており、調定額 8億1,315万円に対する収納率は 56.1%で、前年度に対して収入済額は 1,570万円減少している。

なお、収入未済額 3億4,352万円（貸付金元利収入 3億3,556万円、雑入 795万円）が生じている。

第22款 市債

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
R 7	4,827,700,000	4,119,400,000	4,119,400,000	0	0	85.3	100.0
R 6	7,811,654,000	5,548,554,000	5,548,554,000	0	0	71.0	100.0
増減	△ 2,983,954,000	△ 1,429,154,000	△ 1,429,154,000	0	0	14.3	0

予算現額 48億2,770万円に対して調定額及び収入済額は 41億1,940万円で、前年度から 14億2,915万円減少している。

(3) 歳出

ア 決算の概況

歳出決算の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

一般会計歳出決算状況

(単位：円・％)

年度 区分		R 7	R 6	増 減	増減率
予 算 現 額		26,652,074,000	28,959,600,000	△ 2,307,526,000	△ 8.0
支 出 済 額		24,457,409,292	25,170,079,443	△ 712,670,151	△ 2.8
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0	0	0	—
	繰越明許費	875,344,000	2,482,004,000	△ 1,606,660,000	△ 64.7
	事故繰越	44,834,900	0	44,834,900	皆増
	計	920,178,900	2,482,004,000	△ 1,561,825,100	△ 62.9
不 用 額		1,274,485,808	1,307,516,557	△ 33,030,749	△ 2.5
予算対比(執行率)		91.8	86.9	4.9	—

歳出の決算状況は、予算現額 266億5,207万円に対して支出済額 244億5,740万円で、前年度から 7億1,267万円減少している。

予算現額に対する執行率は 91.8%であるが、翌年度繰越額9億2,017万円を入れると95.2%となり、ほぼ適正に執行されている。

なお、翌年度繰越額は前年度に対して 15億6,182万円減少しており、不用額は 12億7,448万円で、前年度から 3,303万円減少している。

イ 使途別決算状況

使 途 別 決 算 状 況

(単位：千円・%)

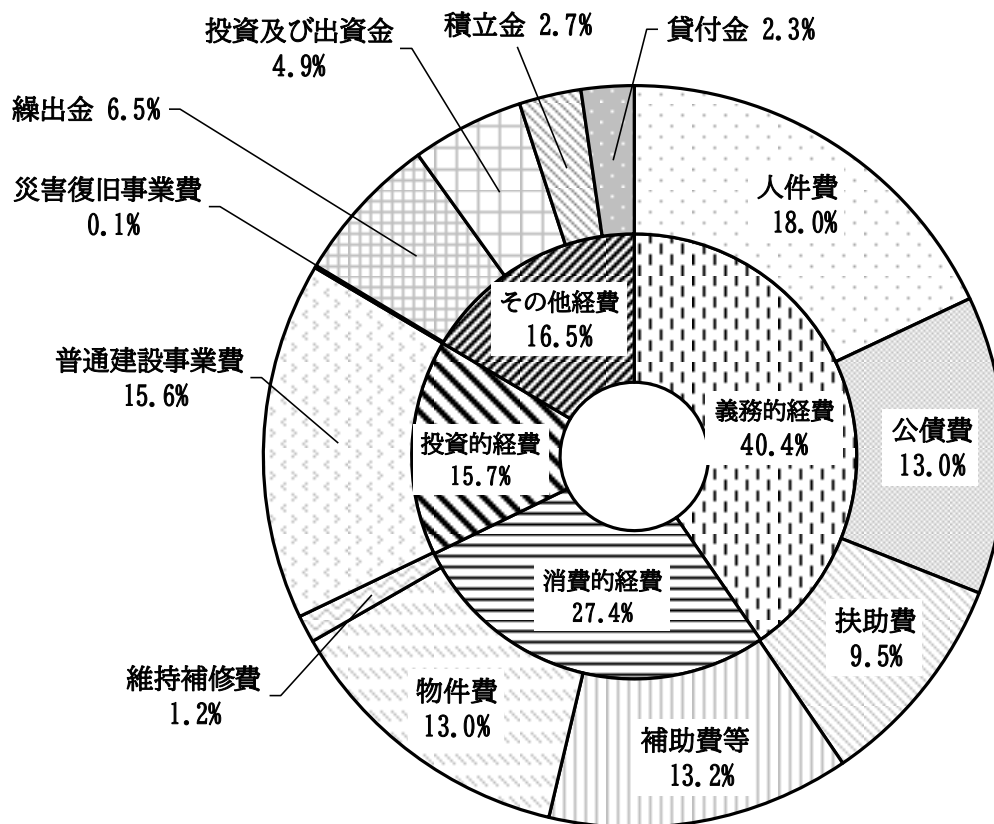
年度 性質別		R 7		R 6		対前年度比	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増 減	増減率
義務的経費	人 件 費	4,396,191	18.0	4,094,556	16.3	301,635	7.4
	扶 助 費	2,313,776	9.5	2,593,049	10.3	△ 279,273	△ 10.8
	公 債 費	3,168,535	13.0	3,110,587	12.4	57,948	1.9
	小 計	9,878,502	40.4	9,798,192	38.9	80,310	0.8
消費的経費	物 件 費	3,187,333	13.0	3,335,866	13.3	△ 148,533	△ 4.5
	維持補修費	294,525	1.2	295,299	1.2	△ 774	△ 0.3
	補 助 費 等	3,227,486	13.2	3,020,747	12.0	206,739	6.8
	小 計	6,709,344	27.4	6,651,912	26.4	57,432	0.9
投資的経費	普通建設事業費	3,813,782	15.6	5,599,572	22.2	△ 1,785,790	△ 31.9
	災害復旧事業費	19,870	0.1	6,871	0.0	12,999	189.2
	小 計	3,833,652	15.7	5,606,443	22.3	△ 1,772,791	△ 31.6
その他経費	積 立 金	663,221	2.7	402,240	1.6	260,981	64.9
	投資及び出資金	1,205,298	4.9	1,110,595	4.4	94,703	8.5
	貸 付 金	569,850	2.3	6,900	0.0	562,950	8,158.7
	繰 出 金	1,597,542	6.5	1,593,797	6.3	3,745	0.2
	小 計	4,035,911	16.5	3,113,532	12.4	922,379	29.6
合 計		24,457,409	100.0	25,170,079	100.0	△ 712,670	△ 2.8

歳出決算を使途別に分類すると、人件費は43億9,619万円で、歳出に占める割合は18.0%となっており、前年度から3億163万円(7.4%)増加しているが、これは人事院勧告に伴う給与改定等が主な要因となっている。

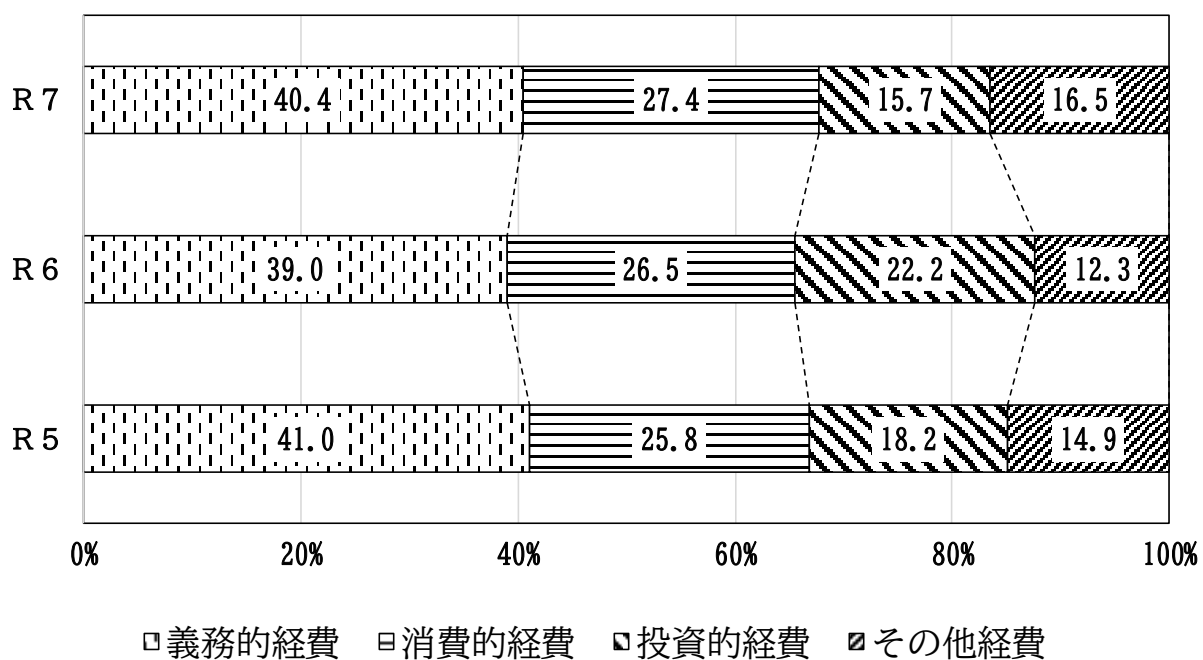
なお、普通建設事業費は38億1,378万円で前年度から17億8,579万円(31.9%)減少しており、歳出に占める割合は15.6%で、前年度より6.6ポイント下回っている。

使途別決算の構成比は次のとおりである。

使途別決算の構成比率



使途別構成比率の年度推移



ウ 款別決算状況

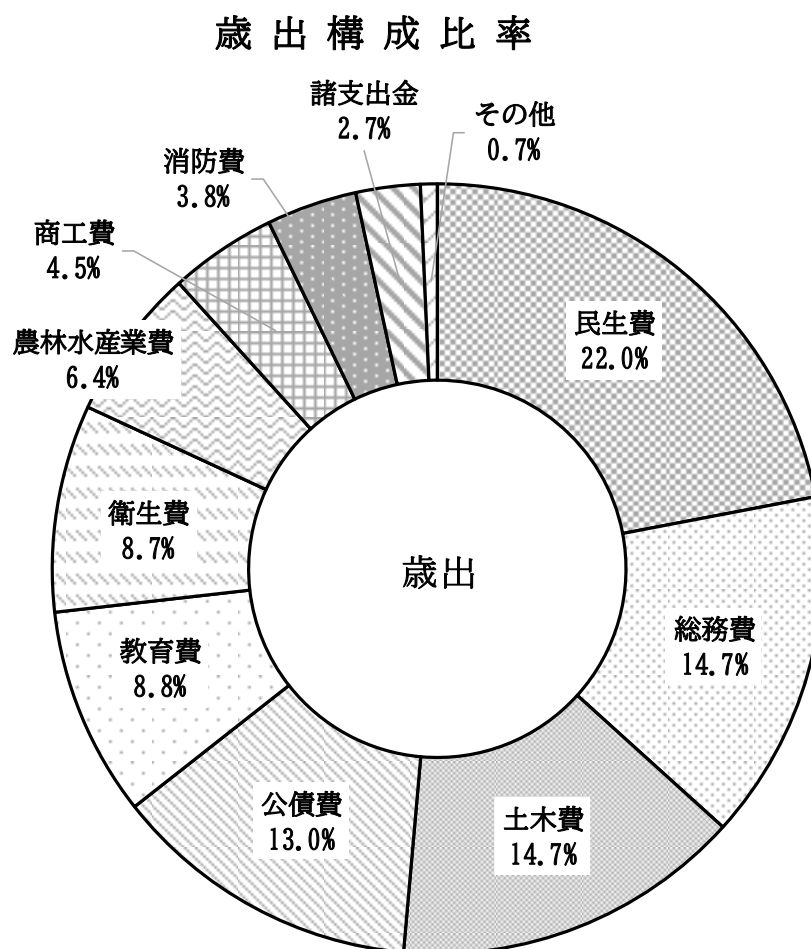
歳出の款別決算状況は、次のとおりである。

款 別 歳 出 決 算 総 括 表

(単位：円・％)

年度 区分	R 7						R 6	対前年度比	
	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	執行率	構成比	支出済額	増 減	増減率
議会費	165,885,000	155,143,128	0	10,741,872	93.5	0.6	163,749,858	△ 8,606,730	△ 5.3
総務費	4,580,773,000	3,595,826,100	696,152,900	288,794,000	78.5	14.7	5,758,090,070	△ 2,162,263,970	△ 37.6
民生費	5,628,402,000	5,384,644,442	0	243,757,558	95.7	22.0	5,828,259,001	△ 443,614,559	△ 7.6
衛生費	2,254,279,000	2,129,957,210	9,649,000	114,672,790	94.5	8.7	1,834,583,895	295,373,315	16.1
労働費	207,000	93,000	0	114,000	44.9	0.0	55,240	37,760	68.4
農林水産業費	1,761,178,000	1,562,032,896	53,498,000	145,647,104	88.7	6.4	1,461,893,575	100,139,321	6.8
商工費	1,135,733,000	1,096,726,430	0	39,006,570	96.6	4.5	685,257,360	411,469,070	60.0
土木費	3,854,898,000	3,595,754,243	160,879,000	98,264,757	93.3	14.7	3,191,907,393	403,846,850	12.7
消防費	974,378,000	925,099,800	0	49,278,200	94.9	3.8	803,229,442	121,870,358	15.2
教育費	2,328,708,000	2,158,379,363	0	170,328,637	92.7	8.8	1,921,141,263	237,238,100	12.3
災害復旧費	25,904,000	19,870,400	0	6,033,600	76.7	0.1	6,870,600	12,999,800	189.2
公債費	3,183,849,000	3,168,534,539	0	15,314,461	99.5	13.0	3,110,587,155	57,947,384	1.9
諸支出金	736,445,000	665,347,741	0	71,097,259	90.3	2.7	404,454,591	260,893,150	64.5
予備費	21,435,000	0	0	21,435,000	0.0	0.0	0	0	—
合 計	26,652,074,000	24,457,409,292	920,178,900	1,274,485,808	91.8	100.0	25,170,079,443	△ 712,670,151	△ 2.8

当年度の歳出構成比率は次のとおりである。



款別支出済額は、民生費が 53億8,464万円（構成比 22.0%）で最も多く、次いで総務費 35億9,582万円（構成比 14.7%）、土木費 35億9,575万円（構成比 14.7%）となっている。

支出済額は、前年度から 7億1,267万円（2.8%）減少しているが、これは商工費、土木費、衛生費などが増額となったものの、総務費、民生費などが減額となったためである。

第1款 議会費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
議 会 費	165,885,000	155,143,128	0	10,741,872	93.5	163,749,858	△ 8,606,730	△ 5.3

支出済額は1億5,514万円で、前年度から860万円減少している。なお、予算現額1億6,588万円に対する執行率は93.5%である。

第2款 総務費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
総務管理費	4,038,972,000	3,082,506,528	696,152,900	260,312,572	76.3	5,191,595,669	△ 2,109,089,141	△ 40.6
徴 税 費	320,885,000	308,780,852	0	12,104,148	96.2	399,975,536	△ 91,194,684	△ 22.8
戸籍住民基本台帳費	85,841,000	80,631,062	0	5,209,938	93.9	103,672,400	△ 23,041,338	△ 22.2
選 挙 費	96,820,000	86,613,057	0	10,206,943	89.5	33,688,584	52,924,473	157.1
統計調査費	17,620,000	17,442,849	0	177,151	99.0	7,181,354	10,261,495	142.9
監査委員費	20,635,000	19,851,752	0	783,248	96.2	21,976,527	△ 2,124,775	△ 9.7
合 計	4,580,773,000	3,595,826,100	696,152,900	288,794,000	78.5	5,758,090,070	△ 2,162,263,970	△ 37.6

支出済額は35億9,582万円で、前年度から21億6,226万円減少している。なお、予算現額45億8,077万円に対する執行率は78.5%であるが、翌年度繰越額を含めると93.7%である。

第3款 民生費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
社会福祉費	3,694,698,000	3,537,233,116	0	157,464,884	95.7	3,739,594,247	△ 202,361,131	△ 5.4
児童福祉費	1,725,176,000	1,668,736,446	0	56,439,554	96.7	1,863,450,680	△ 194,714,234	△ 10.4
生活保護費	203,471,000	175,140,751	0	28,330,249	86.1	223,789,770	△ 48,649,019	△ 21.7
国民年金事務取扱費	4,057,000	3,534,129	0	522,871	87.1	774,304	2,759,825	356.4
災害救助費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	650,000	△ 650,000	皆減
合 計	5,628,402,000	5,384,644,442	0	243,757,558	95.7	5,828,259,001	△ 443,614,559	△ 7.6

支出済額は 53億8,464万円で、前年度から 4億4,361万円減少している。なお、予算現額 56億2,840万円に対する執行率は 95.7%である。

第4款 衛生費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
保健衛生費	933,796,000	840,569,333	9,649,000	83,577,667	90.0	844,905,369	△ 4,336,036	△ 0.5
清 掃 費	728,170,000	702,882,877	0	25,287,123	96.5	702,041,526	841,351	0.1
水 道 費	592,313,000	586,505,000	0	5,808,000	99.0	287,637,000	298,868,000	103.9
合 計	2,254,279,000	2,129,957,210	9,649,000	114,672,790	94.5	1,834,583,895	295,373,315	16.1

支出済額は 21億2,995万円で、前年度から 2億9,537万円増加している。なお、予算現額 22億5,427万円に対する執行率は 94.5%であるが、翌年度繰越額を含めると 94.9%である。

第5款 労働費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
労 働 諸 費	207,000	93,000	0	114,000	44.9	55,240	37,760	68.4

支出済額は 9万円で、前年度から3万円増加している。なお、予算現額 20万円に対する執行率は 44.9%である。

第6款 農林水産業費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
農 業 費	1,345,215,000	1,223,748,186	30,809,000	90,657,814	91.0	1,096,361,983	127,386,203	11.6
林 業 費	415,963,000	338,284,710	22,689,000	54,989,290	81.3	365,531,592	△ 27,246,882	△ 7.5
合 計	1,761,178,000	1,562,032,896	53,498,000	145,647,104	88.7	1,461,893,575	100,139,321	6.8

支出済額は 15億6,203万円で、前年度から 1億13万円増加している。なお、予算現額 17億6,117万円に対する執行率は 88.7%であるが、翌年度繰越額を含めると 91.7%である。

第7款 商工費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
商 工 費	1,135,733,000	1,096,726,430	0	39,006,570	96.6	685,257,360	411,469,070	60.0

支出済額は10億9,672万円で、前年度から4億1,146万円増加している。なお、予算現額11億3,573万円に対する執行率は96.6%である。

第8款 土木費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
土木管理費	270,209,000	259,899,268	0	10,309,732	96.2	217,472,904	42,426,364	19.5
道路橋梁費	1,499,421,000	1,352,943,540	114,398,000	32,079,460	90.2	973,318,841	379,624,699	39.0
河 川 費	118,110,000	70,477,254	46,481,000	1,151,746	59.7	68,185,000	2,292,254	3.4
都市計画費	225,681,000	196,923,635	0	28,757,365	87.3	102,528,277	94,395,358	92.1
下 水 道 費	1,627,832,000	1,620,820,000	0	7,012,000	99.6	1,739,577,000	△ 118,757,000	△ 6.8
住 宅 費	113,645,000	94,690,546	0	18,954,454	83.3	90,825,371	3,865,175	4.3
合 計	3,854,898,000	3,595,754,243	160,879,000	98,264,757	93.3	3,191,907,393	403,846,850	12.7

支出済額は35億9,575万円で、前年度から4億384万円増加している。なお、予算現額38億5,489万円に対する執行率は93.3%であるが、翌年度繰越額を含めると97.5%である。

第9款 消防費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
消 防 費	974,378,000	925,099,800	0	49,278,200	94.9	803,229,442	121,870,358	15.2

支出済額は9億2,509万円で、前年度から1億2,187万円増加している。なお、予算現額9億7,437万円に対する執行率は94.9%である。

第 10 款 教育費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
教育総務費	347,878,000	323,429,478	0	24,448,522	93.0	266,248,887	57,180,591	21.5
小学校費	394,706,000	370,529,059	0	24,176,941	93.9	357,172,628	13,356,431	3.7
中学校費	250,758,000	230,931,374	0	19,826,626	92.1	258,355,201	△ 27,423,827	△ 10.6
幼稚園費	145,503,000	142,638,283	0	2,864,717	98.0	137,375,546	5,262,737	3.8
社会教育費	682,749,000	611,699,873	0	71,049,127	89.6	437,745,974	173,953,899	39.7
保健体育費	507,114,000	479,151,296	0	27,962,704	94.5	464,243,027	14,908,269	3.2
合 計	2,328,708,000	2,158,379,363	0	170,328,637	92.7	1,921,141,263	237,238,100	12.3

支出済額は 21億5,837万円で、前年度から 2億3,723万円増加している。なお、予算現額 23億2,870万円に対する執行率は 92.7%である。

第 11 款 災害復旧費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
農林水産業施設災害復旧費	24,904,000	19,870,400	0	5,033,600	79.8	6,870,600	12,999,800	189.2
公共土木施設災害復旧費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	0	0	—
合 計	25,904,000	19,870,400	0	6,033,600	76.7	6,870,600	12,999,800	189.2

支出済額は 1,987万円で、前年度から 1,299万円増加している。なお、予算現額 2,590万円に対する執行率は 76.7%である。

第 12 款 公債費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
公債費	3,183,849,000	3,168,534,539	0	15,314,461	99.5	3,110,587,155	57,947,384	1.9

支出済額は 31億6,853万円で、前年度から 5,794万円増加している。なお、予算現額 31億8,384万円に対する執行率は 99.5%である。

第 1 3 款 諸支出金

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
基金費	736,445,000	665,347,741	0	71,097,259	90.3	404,454,591	260,893,150	64.5

支出済額は 6億6,534万円で、前年度から 2億6,089万円増加している。なお、予算現額 7億3,644万円に対する執行率は 90.3%である。

第 1 4 款 予備費

(単位：円・％)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
予備費	21,435,000	0	0	21,435,000	0.0	0	0	—

予備費は当初予算 3,000万円であったが、856万円が充用され、差額の 2,143万円が不用額となった。

3 特別会計

(1) 決算概要

令和7年度特別会計の決算の状況は、

予算現額 8,795,835,000 円
 歳入総額 8,487,744,925 円（予算収入率 96.5%）
 歳出総額 8,228,045,241 円（予算執行率 93.5%）
 差 引 259,699,684 円 となっている。

ア 会計別決算状況

各会計別の歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

特 別 会 計 決 算 総 括 表

（単位：円・％）

会計区分	予算現額	歳 入		歳 出		歳入歳出差引額
		決算額	予算 対比	決算額	予算 対比	
国民健康保険（事業勘定）	3,320,936,000	3,079,918,045	92.7	3,044,711,938	91.7	35,206,107
国民健康保険（直営診療施設勘定）	111,912,000	92,894,616	83.0	92,658,353	82.8	236,263
介 護 保 険	4,395,151,000	4,374,209,116	99.5	4,179,704,753	95.1	194,504,363
公 園 墓 地 事 業	2,704,000	2,075,830	76.8	1,631,698	60.3	444,132
老 人 保 健 施 設 事 業	322,506,000	311,566,307	96.6	305,213,000	94.6	6,353,307
老 人 福 祉 施 設 事 業	42,063,000	31,855,047	75.7	31,352,811	74.5	502,236
矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金	25,202,000	25,707,647	102.0	4,953,393	19.7	20,754,254
後 期 高 齢 者 医 療	575,361,000	569,518,317	99.0	567,819,295	98.7	1,699,022
合 計	8,795,835,000	8,487,744,925	96.5	8,228,045,241	93.5	259,699,684

イ 会計別決算収支状況

各会計別の決算収支の状況は、次表のとおりである。

特 別 会 計 決 算 収 支 状 況

(単位：円)

会 計 別	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支	前年度 実質収支	単年度収支
国民健康保険（事業勘定）	35,206,107	0	35,206,107	19,110,986	16,095,121
国民健康保険（直営診療施設勘定）	236,263	0	236,263	2,552,040	△ 2,315,777
介 護 保 険	194,504,363	0	194,504,363	228,007,245	△ 33,502,882
公 園 墓 地 事 業	444,132	0	444,132	1,066,508	△ 622,376
老 人 保 健 施 設 事 業	6,353,307	0	6,353,307	26,362,719	△ 20,009,412
老 人 福 祉 施 設 事 業	502,236	0	502,236	2,097,236	△ 1,595,000
矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金	20,754,254	0	20,754,254	19,078,509	1,675,745
後 期 高 齢 者 医 療	1,699,022	0	1,699,022	6,641,831	△ 4,942,809
合 計	259,699,684	0	259,699,684	304,917,074	△ 45,217,390

本年度の特別会計全体の実質収支は 2 億 5,969 万円となっているが、前年度実質収支を差し引いた単年度収支は 4,521 万円の赤字となっている。

(2) 各会計の概要

ア 美作市国民健康保険特別会計

① 事業勘定

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
国民健康保険税	375,325,000	535,227,704	427,615,968	7,090,099	100,521,637	113.9	13.9
使用料及び手数料	10,000	58,520	58,520	0	0	585.2	0.0
国庫支出金	0	41,000	41,000	0	0	—	0.0
県支出金	2,537,128,000	2,303,601,597	2,303,601,597	0	0	90.8	74.8
財産収入	7,727,000	7,656,252	7,656,252	0	0	99.1	0.2
繰入金	372,791,000	314,325,790	314,325,790	0	0	84.3	10.2
繰越金	19,110,000	19,110,986	19,110,986	0	0	100.0	0.6
諸収入	8,845,000	7,627,153	7,507,932	0	119,221	84.9	0.2
合 計	3,320,936,000	3,187,649,002	3,079,918,045	7,090,099	100,640,858	92.7	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
総 務 費	62,110,000	57,016,857	0	5,093,143	91.8	1.9
保 険 給 付 費	2,489,902,000	2,240,087,274	0	249,814,726	90.0	73.6
保 健 事 業 費	60,459,000	46,457,293	0	14,001,707	76.8	1.5
基 金 積 立 金	7,727,000	7,656,252	0	70,748	99.1	0.3
諸 支 出 金	18,886,000	16,645,128	0	2,240,872	88.1	0.5
国民健康保険事業納付金	676,852,000	676,849,134	0	2,866	100.0	22.2
予 備 費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.0	0.0
合 計	3,320,936,000	3,044,711,938	0	276,224,062	91.7	100.0

歳入歳出予算現額は 33 億 2,093 万円で、これに対する収入済額は 30 億 7,991 万円（予算対比 92.7％）、支出済額は 30 億 4,471 万円（予算対比 91.7％）で、歳入歳出差引額は 3,520 万円となっている。

なお、歳入においては不納欠損額 709 万円、収入未済額 1 億 64 万円が生じているが、これは、国民健康保険税と諸収入にかかるものである。

② 直営診療施設勘定

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
診 療 収 入	34,842,000	39,834,069	39,834,069	0	0	114.3	42.9
使用料及び手数料	101,000	133,540	133,540	0	0	132.2	0.1
財 産 収 入	1,704,000	1,843,923	1,843,923	0	0	108.2	2.0
繰 入 金	70,522,000	44,604,000	44,604,000	0	0	63.2	48.0
繰 越 金	2,552,000	2,552,040	2,552,040	0	0	100.0	2.7
諸 収 入	1,491,000	1,742,044	1,742,044	0	0	116.8	1.9
市 債	700,000	700,000	700,000	0	0	100.0	0.8
県 支 出 金	0	1,485,000	1,485,000	0	0	—	1.6
合 計	111,912,000	92,894,616	92,894,616	0	0	83.0	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
総 務 費	91,841,000	77,165,415	0	14,675,585	84.0	83.3
医 業 費	14,649,000	11,179,991	0	3,469,009	76.3	12.1
公 債 費	4,322,000	4,312,947	0	9,053	99.8	4.7
諸 支 出 金	100,000	0	0	100,000	0.0	0.0
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	0.0
合 計	111,912,000	92,658,353	0	19,253,647	82.8	100.0

歳入歳出予算現額は 1 億 1,191 万円で、これに対する収入済額は 9,289 万円（予算対比 83.0％）、支出済額は 9,265 万円（予算対比 82.8％）で、歳入歳出差引額は 23 万円となっている。

イ 美作市介護保険特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
保 険 料	707,000,000	738,649,965	731,857,518	2,193,680	4,598,767	103.5	16.7
分担金及び負担金	1,764,000	1,678,000	1,678,000	0	0	95.1	0.0
使用料及び手数料	10,000	10,900	10,900	0	0	109.0	0.0
国 庫 支 出 金	1,091,092,000	1,097,640,736	1,097,640,736	0	0	100.6	25.1
支払基金交付金	1,092,552,000	1,043,515,000	1,043,515,000	0	0	95.5	23.9
県 支 出 金	603,479,000	631,378,302	631,378,302	0	0	104.6	14.4
財 産 収 入	3,343,000	3,312,857	3,312,857	0	0	99.1	0.1
繰 入 金	654,106,000	624,827,000	624,827,000	0	0	95.5	14.3
繰 越 金	228,007,000	228,007,245	228,007,245	0	0	100.0	5.2
諸 収 入	13,798,000	11,981,558	11,981,558	0	0	86.8	0.3
合 計	4,395,151,000	4,381,001,563	4,374,209,116	2,193,680	4,598,767	99.5	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
総 務 費	107,929,000	101,649,550	0	6,279,450	94.2	2.4
保 険 給 付 費	3,934,585,000	3,784,752,954	0	149,832,046	96.2	90.6
地域支援事業費	144,762,000	127,533,042	0	17,228,958	88.1	3.1
基 金 積 立 金	3,344,000	3,312,857	0	31,143	99.1	0.1
諸 支 出 金	166,088,000	162,456,350	0	3,631,650	97.8	3.9
予 備 費	38,443,000	0	0	38,443,000	0.0	0.0
合 計	4,395,151,000	4,179,704,753	0	215,446,247	95.1	100.0

歳入歳出予算現額は 43 億 9,515 万円で、これに対する収入済額は 43 億 7,420 万円（予算対比 99.5％）、支出済額は 41 億 7,970 万円（予算対比 95.1％）で、歳入歳出差引額は 1 億 9,450 万円となっている。また、歳入においては不納欠損額 219 万円、収入未済額 459 万円が生じているが、これは介護保険料にかかるものである。

ウ 美作市公園墓地事業特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
使用料及び手数料	625,000	0	0	0	0	0.0	0.0
財 産 収 入	524,000	519,562	519,562	0	0	99.2	25.0
繰 越 金	1,066,000	1,066,508	1,066,508	0	0	100.0	51.4
繰 入 金	487,000	487,000	487,000	0	0	100.0	23.5
諸 収 入	2,000	2,760	2,760	0	0	138.0	0.1
合 計	2,704,000	2,075,830	2,075,830	0	0	76.8	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
管 理 費	2,179,000	1,112,136	0	1,066,864	51.0	68.2
諸 支 出 金	525,000	519,562	0	5,438	99.0	31.8
合 計	2,704,000	1,631,698	0	1,072,302	60.3	100.0

歳入歳出予算現額は 270 万円で、これに対する収入済額は 207 万円（予算対比 76.8％）、支出済額は 163 万円（予算対比 60.3％）で、歳入歳出差引額は 44 万円となっている。

エ 美作市老人保健施設事業特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
介護保険収入	208,731,000	187,365,440	187,365,440	0	0	89.8	60.1
使用料及び手数料	51,183,000	58,959,835	58,959,835	0	0	115.2	18.9
繰 入 金	30,349,000	30,349,000	30,349,000	0	0	100.0	9.7
繰 越 金	26,362,000	26,362,719	26,362,719	0	0	100.0	8.5
諸 収 入	1,781,000	3,258,313	3,258,313	0	0	182.9	1.0
市 債	4,100,000	4,100,000	4,100,000	0	0	100.0	1.3
県 支 出 金	0	1,171,000	1,171,000	0	0	—	0.4
合 計	322,506,000	311,566,307	311,566,307	0	0	96.6	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
総 務 費	267,489,000	254,914,606	0	12,574,394	95.3	83.5
医 業 費	29,718,000	26,647,669	0	3,070,331	89.7	8.7
指定居宅介護支援事業費	19,432,000	18,815,630	0	616,370	96.8	6.2
公 債 費	4,867,000	4,835,095	0	31,905	99.3	1.6
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	0.0
合 計	322,506,000	305,213,000	0	17,293,000	94.6	100.0

歳入歳出予算現額は 3 億 2,250 万円で、これに対する収入済額は 3 億 1,156 万円（予算対比 96.6％）、支出済額は 3 億 521 万円（予算対比 94.6％）で、歳入歳出差引額は 635 万円となっている。

才 美作市老人福祉施設事業特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
分担金及び負担金	408,000	278,347	278,347	0	0	68.2	0.9
財 産 収 入	648,000	642,956	642,956	0	0	99.2	2.0
繰 入 金	7,408,000	5,736,508	5,736,508	0	0	77.4	18.0
繰 越 金	2,097,000	2,097,236	2,097,236	0	0	100.0	6.6
諸 収 入	14,702,000	14,700,000	14,700,000	0	0	100.0	46.1
市 債	16,800,000	8,400,000	8,400,000	0	0	50.0	26.4
合 計	42,063,000	31,855,047	31,855,047	0	0	75.7	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
民 生 費	20,142,000	10,098,184	0	10,043,816	50.1	32.2
公 債 費	19,176,000	19,016,671	0	159,329	99.2	60.7
諸 支 出 金	2,245,000	2,237,956	0	7,044	99.7	7.1
予 備 費	500,000	0	0	500,000	0.0	0.0
合 計	42,063,000	31,352,811	0	10,710,189	74.5	100.0

歳入歳出予算現額は 4,206 万円で、これに対する収入済額は 3,185 万円（予算対比 75.7%）、支出済額は 3,135 万円（予算対比 74.5%）で、歳入歳出差引額は 50 万円となっている。

カ 矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
財 産 収 入	1,046,000	1,037,153	1,037,153	0	0	99.2	4.0
繰 越 金	19,078,000	19,078,509	19,078,509	0	0	100.0	74.2
諸 収 入	5,078,000	5,929,985	5,591,985	0	338,000	110.1	21.8
合 計	25,202,000	26,045,647	25,707,647	0	338,000	102.0	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
教 育 費	4,954,000	4,953,393	0	607	100.0	100.0
予 備 費	20,248,000	0	0	20,248,000	0.0	0.0
合 計	25,202,000	4,953,393	0	20,248,607	19.7	100.0

歳入歳出予算現額は2,520万円で、これに対する収入済額は2,570万円（予算対比102.0％）、支出済額は495万円（予算対比19.7％）で、歳入歳出差引額は2,075万円となっている。

なお、歳入においては収入未済額33万円が生じているが、これは、諸収入（貸付金元利収入）にかかるものである。

キ 美作市後期高齢者医療特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

《歳入》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比
後期高齢者医療保険料	395,958,000	394,450,340	391,904,840	528,000	2,017,500	99.0	68.8
使用料及び手数料	1,000	4,000	4,000	0	0	400.0	0.0
繰 入 金	155,070,000	155,069,320	155,069,320	0	0	100.0	27.2
繰 越 金	6,641,000	6,641,831	6,641,831	0	0	100.0	1.2
諸 収 入	17,691,000	15,898,326	15,898,326	0	0	89.9	2.8
合 計	575,361,000	572,063,817	569,518,317	528,000	2,017,500	99.0	100.0

《歳出》

(単位：円・％)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比
総 務 費	33,385,000	30,007,557	0	3,377,443	89.9	5.3
後期高齢者医療広域連合納付金	539,751,000	536,181,760	0	3,569,240	99.3	94.4
諸 支 出 金	2,075,000	1,629,978	0	445,022	78.6	0.3
予 備 費	150,000	0	0	150,000	0.0	0.0
合 計	575,361,000	567,819,295	0	7,541,705	98.7	100.0

歳入歳出予算現額は 5 億 7,536 万円で、これに対する収入済額は 5 億 6,951 万円（予算対比 99.0％）、支出済額は 5 億 6,781 万円（予算対比 98.7％）で、歳入歳出差引額は 169 万円となっている。

なお、歳入においては不納欠損額 52 万円、収入未済額 201 万円が生じているが、これは、後期高齢者医療保険料にかかるものである。

4 財産に関する調書

(1) 財産の決算年度中の増減及び年度末の状況は、次表のとおりである。

区 分			単位	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
公有財産	土 地 （ 山 林 含 む ）		㎡	22,078,148	1,804,555	23,853,385
					△ 29,318	
	建 物		㎡	306,554	8,253	306,831
					△ 7,976	
	山 林	面 積	㎡	17,893,891	1,787,495	19,681,386
	立木の推定蓄積量		㎥	270,754	10,701	278,738
					△ 2,717	
	無 体 財 産 権		件	6	0	6
有 価 証 券		千円	20,888	0	20,888	
出 資 に よ る 権 利 （ 一 般 会 計 ）		千円	1,099,886	0	1,099,886	
物 品	車 輦 等		台	380	6	374
					△ 12	
債権	一 般 会 計		千円	678,048	569,850	1,138,584
					△ 109,314	
	特 別 会 計		千円	40,320	4,920	40,080
					△ 5,160	

5 基金の運用状況

(1) 一般会計の基金の運用状況は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
美作市財政調整基金		7,074,042	49,762	7,123,804
美作市減債基金		2,620,701	225,715 △ 76,413	2,770,003
美作市国際都市交流基金		54,643	536	55,179
美作市ふるさと創生基金		790,840	7,760	798,600
美作市土地開発公社基金		17,366	170	17,536
美作市産業基盤強靱化基金		133,823	1,434	135,257
美作市土地開発基金	現金	247,818	2,127	249,945
	土地	132,959	0	132,959
美作市定住促進住宅運営基金		78,262	8,726	86,988
美作市誰一人取り残さない教育推進基金		184,505	36,810 △ 35,000	186,315
青山明治・勝利振興基金		1,257	13 △ 200	1,070
小黒三郎基金		23,881	234 △ 560	23,555
美作市介護・医療関係奨学基金		187	2	189
英田小学校、英田中学校教育施設整備基金		43,656	429	44,085
美作市地域振興基金		3,693,266	28,401 △ 9,912	3,711,755
ふるさと美作応援基金		201,001	269,823 △ 254,979	215,845
美作市公共施設整備基金		3,508,841	33,397 △ 151,800	3,390,438
美作市森林環境基金		992	10	1,002
合 計		18,808,040	136,485	18,944,525

(2) 特別会計の基金の運用状況は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
美作市国民健康保険事業財政調整基金	850,053	7,657	777,710
		△ 80,000	
美作市立診療所財政調整基金	190,972		187,472
		△ 3,500	
美作市介護給付費等準備基金	337,623	3,313	340,936
美作市公園墓地事業基金	52,950	519	52,982
		△ 487	
美作市老人福祉施設財政調整基金	5,547	1,650	7,197
美作市老人福祉施設減債基金	59,979	588	58,546
		△ 2,021	
矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金	105,700	0	105,700
合 計	1,602,824	△ 72,281	1,530,543

令和8年3月末現在の基金数は24基金で、一般会計関係17基金、特別会計関係7基金である。

6 むすび

(1) 決算審査の概要と決算額に対する意見

令和7年度における、一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査の概要は次のとおりである。

歳入歳出決算の状況について、一般会計と特別会計（7会計）の総額は、歳入決算額 346 億 8,667 万円、歳出決算額 326 億 8,545 万円であった。収支状況をみると、形式収支は 20 億 121 万円で、翌年度へ繰越すべき財源 8,974 万円を除いた実質収支は、19 億 1,146 万円で、当年度実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は 1 億 2,828 万円の黒字となっている。

歳入について、決算額 346 億 8,667 万円は、予算現額 354 億 4,790 万円に対して 97.9%、調定額 355 億 3,245 万円（一般会計 269 億 2,730 万円、特別会計 86 億 515 万円）に対して 97.6% の割合であった。また不納欠損額は 5,449 万円で、内訳は一般会計が 4,468 万円、国民健康保険特別会計（事業勘定）が 709 万円、介護保険特別会計が 219 万円、後期高齢者医療特別会計が 52 万円となっていたが、審査したところいずれも関係法令に基づき適正に処理されているものと認められた。

一方、収入未済額は 7 億 9,128 万円であり、内訳は一般会計が 6 億 8,369 万円、国民健康保険特別会計（事業勘定）が 1 億 64 万円、介護保険特別会計が 459 万円、矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計が 33 万円、後期高齢者医療特別会計が 201 万円となっている。前年度の収入未済額よりも本年度は 1,801 万円減少しているが、このような多額の収入未済額は、市民に不公平感を抱かせるだけでなく、全体の納付意欲を低下させるものである。税負担の公平性はもとより自主財源確保の観点からも、常に徴収不能のリスクを念頭に置く必要がある。今後は、早期に個々の状況を十分に調査した上で、差押え等の確実な債権保全措置を講じるという、担当部署の意識改革がこれまで以上に求められる。

なお、不納欠損処理については、法令等の趣旨に沿って引き続き適切に実施されたい。

歳出については、決算額は 326 億 8,545 万円で、予算現額 354 億 4,790 万円に対し 92.2% の割合になっており、翌年度繰越額は 9 億 2,017 万円で前年度から 15 億 6,182 万円の減、不用額は 18 億 4,227 万円（一般会計 12 億 7,448 万円、特別会計 5 億 6,778 万円）で前年度から 9,929 万円の増であった。

また、今後の事業計画に当たって厳しい財政状況であることを踏まえ、有利な地方債の発行や国・県の補助事業等を研究し、財源の確保に努められたい。

(2) 事務処理に対する意見

- 本年度の決算審査を通じて各事業の執行状況を確認したところ、概ね適正に処理されていると認められたものの、繰越事業の管理及び執行過程において、一部不備が見受けられた。これらの事象は、関係部署間の連携不足や、事務手続きに対する確認不足に起因するものと考えられる。今後の行政運営においては、業務プロセスの見直しと職員のコンプライアンス意識の向上を図り、組織全体でのチェック機能が有効に働くよう、内部統制の更なる徹底に努められたい。
- 多額の不用額が発生している点について、今年度は補正予算の要求時期が早く、正確な執行残高の算定が困難な状況にあったことは理解できる。しかしながら、多額の不用額の発生は、限られた財源を他の必要な事業へ割り当てる機会を逸することにつながる。今後は、事業の進捗状況をよりの確に把握し、精度の高い予算執行管理および適時適切な補正措置に努められたい。
- 契約の締結に当たっては、競争入札が基本であることを常に念頭に置くこと。やむを得ず随意契約を選択する場合であっても、『随意契約ガイドライン(令和4年7月 管財課作成)』に沿って複数の見積書を徴取するなど、適正な事務処理に努められたい。

とりわけ特定の1者との随意契約において、例年と同様の業務内容であるにもかかわらず契約金額が増額している案件については、増額の根拠や金額の妥当性をより厳格に精査・検証するよう求める。